

COVID-19 感染拡大により社会が大きく変容する中、日常的な活動を行うために、これまで以上に情報通信技術が欠かせなくなっています。特に、学校や大学で対面での学びが制限されたことで、学びを止めず持続的に発展させるために、オンライン授業が積極的に実施されるようになり、様々な形で定着しつつあります。このような状況は、これまで以上に教育工学が注目されていることに他なりません。時を同じくして、AI（Artificial Intelligence）、VR/AR/MR（Virtual/Augmented/Mixed Reality）、IoT（Internet of Things）、5G（5th Generation Mobile Communication System）といった情報通信技術の発展・普及がもたらすより良い社会変容、すなわち、DX（Digital Transformation）への期待も高まっており、その期待は学習／教育分野でも例外ではありません。災害などに起因する困難な状況において、持続可能で發展的なより良い学びを実現することは、全世界にとって緊急かつ重要な課題といえます。

このような社会的背景を鑑み、本学会・教育工学研究会を主体とし、英文誌“Special Section on Educational Technologies for Sustainable and Expansive Learning”小特集を企画致しました。本小特集では、学習／学習支援システムはもちろんのこと、より良い学びを支えるインフラ、学習活動の認知的側面なども含めた教育工学が取り扱う幅広いトピックを対象に、先端的な研究・開発・実践に関する論文、レターを募集します。以下に代表的なトピックを示しますが、これらに限られるものではありません。

教育工学に携わっておられる多くの方からの積極的な御投稿を御待ちしております。

なお、本小特集は、和文誌の教育工学特集との合同企画になり、和文誌でも特集論文が募集されます。

1. 対象分野

・教育工学基礎

認知科学、知識工学、人間工学、行動科学、個別教育、グループ・協調学習、指導・学習モデル など

・教育支援システム

eラーニング、ILE、ITS、CAI、マルチメディア利用、ネットワーク利用、衛星利用、遠隔教育、学習環境、遠隔講義、ヒューマンインタフェース、ロボティクス、AI、IoT、VR/AR/MR など

・教育設計・計画

教材構造分析、カリキュラム開発、テストシステム、データ解析、Learning Analytics など

・分野別教育

工学教育、情報処理教育、情報教育、研究者育成、人材育成、感性教育、大学・高専教育、初等中等教育、企業内教育、特別支援教育、障害者教育、看護教育、福祉教育、リフレッシュ教育、生涯教育 など

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一です。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。

著者全員が非会員でも投稿が可能になりました。但し、非会員掲載料が適用されます。この機会に入会をお勧めします。入会の案内 (<https://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

小特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間（通常は60日）が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D のすべての論文を、J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には、電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。（オープン化は、2020年1月以降も継続する予定です。）オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。

3. 各種締切

投稿締切：2022年3月21日（月） 23：59 厳守

（2022年3月22日0時0分に受付がクローズされます）

掲載料支払期限：2022年11月15日（火）

※掲載料支払い制導入に伴い、上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。期日までに支払いが完了し

ない場合には、採録取り消しとなります。

詳細は http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_6-10.html を御参照下さい。

特集発行：2023年2月1日（水）

4. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-ET] Educational Technology を選択して下さい。 [Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。

5. 問合せ先

光原弘幸（徳島大学）

E-mail： [mituhara\[at\]is.tokushima-u.ac.jp](mailto:mituhara[at]is.tokushima-u.ac.jp)

[at] は @ に読み替えて下さい（スパムメール対策）

6. 小特集編集委員会

委員長 渡辺健次（広島大）

副委員長 鷹岡 亮（山口大）

幹 事 光原弘幸（徳島大）

委 員 赤倉貴子（東京理科大）、宇都雅輝（電通大）、大沼 亮（津田塾大）、大橋裕太郎（芝浦工大）、柏原昭博（電通大）、香山瑞恵（信州大）、國宗永佳（千葉工大）、小尻智子（関西大）、後藤田 中（香川大）、重田勝介（北大）、戸田真志（熊本大）、中村勝一（福島大）、中山祐貴（早大）、長谷川 忍（JAIST）、松浦健二（徳島大）、室田真男（東京工大）、梁 滋璐（京都先端大）